

未来を開く

長井市立長井北中学校 No50 令和4年10月26日

平和な世界へ貢献誓う

令和4年度「長井市戦没者追悼式」が、10月23日(日)長井市民文化会館で開催された。「大切なものを失ってしまう前に」と題して、3年生の さんが、南中学校の3年生 さんとともに、作文を朗読した。

人間は、大切なものを失ってはじめて、それがどんなに大切だったかに気づきます。かつての日本は戦争で平和な日常を失いました。その時に、平和がどれだけ大切かを思い知ったはずです。戦争は、人々の生活すべてを奪ってしまう、恐ろしい、悲しい、愚かな行為です。

私が戦争の愚かさを考えるきっかけとなったのは、歴史の授業でした。日本は過去に、何度も戦争をしています。戦争で失われていくたくさんの尊い命。その尊い命は、たくさんの背景を持っています。本人の思いだけでなく、家族や友人の思い、亡くなった方が生きるはずだった人生、出会うはずだった



人、失われてしまった未来…。計り知れない多くのものも共に失われていったのです。

授業で学んだ中で特に印象的だったのは、戦争を経験された女性がおっしゃっていた、「当時は、戦場でお国のため華と散ることが最高の名誉という国民感情であった。」という言葉です。いくら戦争から逃げたくなくても、逃げるのが不可能であり、「戦争で命を落とすことが名誉」と思うことがあたり前になっていた当時の状況を知り、私は衝撃を受けました。当時の人達は、戦争の本当の恐ろしさをまだ知らなかったのでしょうか。人の命はどんなものより尊いものだという、私達にとってのあたり前は、当時の人達にはあたりまえでなかったのでしょうか。(中略)

「戦争をなくそう。」と口にするのは簡単です。しかし、その実現までは遠い遠い道のりです。現実には、今外国で起きている戦争を、みんなが「早くやめたい。」と思っています。しかし、誰もやめることができないでいます。今日本で戦争は起きてはいませんが、新型コロナウイルスが急に感染スピードを上げたように、誰も想像していなかった戦争が急に始まるかもしれません。

決して簡単なことでなくても、国民一人一人が、世界中の一人一人が、「戦争は絶対に許さない」という強い思いを持つことが必要です。

もし、少しでも戦争を許す考えがあるのなら、近い将来、また同じような悲劇が繰り返されるかもしれません。

平和を失ってしまったから、それが大切だったことを知っても遅いのです。私自身も、これからの平和を担う身として、戦争を許さない気持ちを強く持ち、また、政治や国際関係について学び続けていきたいと思えます。そして、世界中で、平和への願いが募り、この世から「戦争」という言葉がなくなるようになるまで、全人類で手を取り合っていかなければならないと思えます。

あの悲劇を、もう二度と繰り返さないために。

式典の冒頭に、長井市長様と長井市遺族会会長様から、「戦後77年、今の日本の平和と安全を考えると、長井市出身者を含む多くの方々が戦禍の犠牲になられたことを忘れてはならない。我々は、世界の恒久平和と長井市の発展に貢献することを誓います。」とお話がありました。



学校では、各教科等で「平和に関する学習」を行っています。
 第3学年では、国語科で石垣りん(いしがき りん)さん作「挨拶—原爆の写真によせて」を学習します。昨年に引き続き、感想を紹介します。

あ、 この焼けたたれた顔は 一九四五年八月五日 その時広島にいた人 二五万の焼けたたれのひごつ すでに此の世にないもの とはいえ 友よ 向きあった互いの顔を も一度見直そう 戦火の跡もとどめぬ すこやかな今日の顔 すがすがしい朝の顔 その顔の中に明日の表情を さがすとき わたしはりつせんとするのだ	地球が原爆を数百個所持して 生と死のきわどい淵を歩くとき なぜそんなにも安らかに あなたは美しいのか しずかに耳を澄ませ 何かが近づいてきはしないか 見極めなければならぬものは目の 前に えり分けなければならぬものは 手の中にある 午前八時一五分は 毎朝やってくる 一九四五年八月六日の朝 一瞬にして死んだ二五万人の人は 今在る あなたの如く私の如く やすらかに美しく油断していた。
--	---

『私たちにとって遠いできごとのように感じるが、被爆した方々も原爆が落ちてくるなど誰も考えなかったことと思う。だから私たちも、過去にあった「悲しいできごと」と他人事のように受け止めるのではなく、自分たちの周りには同じような危険があるのだと真剣に考えなくてはいけないと気づいた。石垣りんさんが本当に伝えたかったことがこの事かはわからないが、この詩をとおして、原爆の恐ろしさを作者とわかりあえたような気がした。』
 (3年3組 高橋菜々花さん)

薄暮時の下校指導を行いました

夕暮れが早まっていますが、文化祭を前にして下記のとおり「薄暮時の下校指導」を実施しました。
 各ご家庭におかれましても「ライトを付けて、複数で、ルールを守って下校!」を繰り返し呼びかけてくださるようお願いいたします。
 また、下校時に限らず、登校時にも「気をつけて!」の一声をおかけください。よろしくお願いいたします。

1 ねらい

夕暮れが早くなっている時期に、安全に下校できているかを確認する。

2 重点

- (1) 自転車のライト点灯
- (2) 左側通行 自歩道があれば、自歩道の道路側走行
- (3) 一列走行 並進禁止
- (4) 交差点などでの一時停止
- (5) ヘルメットの着用

3 実施方法

- (1) 実施期間 令和4年10月21日(金)、25日(火)
- (2) 実施時間 下校時間帯に、車で巡回指導および立哨指導を行う

4 指導場所

- (1) 野川橋、緑町、十日町方面
- (2) 谷地橋、清水町、幸町方面
- (3) 寺泉、草岡方面
- (4) 白兔、勸進代方面
- (5) 致芳全方面

